

II

学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

生涯を通じて学びあい、育みあうことによって

個性や能力を伸ばし、

夢と希望と感動に出会える“大家族”を目指します。

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（3）

学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 個人が培ってきた知恵・特技・体験などが、人づくりやまちづくりに活かされ、子ども・若者や大人がともに成長しています。
- ◎ 学び・文化・スポーツ活動を通して市民同士の交流が深まり、「高浜市が好き」「市民や地域のために何かやってみたい」という市民が増えています。
- ◎ 先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民共有の財産として継承され、まちづくりに活かされています。

目標達成に向けての考え方

学び・文化・スポーツは、人づくりやまちづくりの土台となるものです。市民・地域・関係機関・事業者と連携し、学びなどを通して市民同士が個々の力を高め合うとともに、つながりを深めながら「高浜市が好き」「誰かのために役立ちたい」「住んでいるまちをよりよくしたい」といったまちづくりの原動力を育んでいきます。

- ◆ まちの魅力・自慢に触れる機会を豊かにし、「知りたい」「調べてみよう」といった興味・意欲を高め、市民に「伝えたい」、地域のために「役立ちたい」「活動してみたい」といった動きを広げていくことが重要です。
- ◆ 次世代を担う子ども・若者の「やってみたい」「こうしたい」を応援する輪を広げ、市民同士がともに学び合い、高め合う機会を豊かにしていくことが大切です。
- ◆ 「いつでも・だれでも・どこでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを活発にしていけることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民とともにまちの魅力・自慢（歴史・文化・伝統・産業・景観など）を掘り起こし、守り、伝え、活かしていく活動を強化します。
- ☆ 市民（特に子ども・若者）の「知りたい」「やってみたい」「役立ちたい」を応援し、市民同士が学び合い、高め合う場づくりを進めます。
- ☆ 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合	71%	76%	↗
2) 将来の夢・希望・目標を持っている子どもの割合	76%	81%	↗
3) 持っている知識・特技・体験などを地域や社会活動に活かしている人の割合	29%	35%	↗



▲高浜市誌編さん事業（「聞き書き」の実践）



▲生涯スポーツ推進事業（ファミリーバドミントン体験）

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（4）

学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 子どもが、自分の成長に気づいたり、目標を抱いたりしています。
- ◎ 子どもが、地域に関心を持ち、自分ができることを考え、実践しています。
- ◎ 子どもが、主体的・対話的で深い学びをしています。
- ◎ 子どもが、個に応じた教育を受け、個性を伸ばさせています。

目標達成に向けての考え方

学校、家庭、地域が「子どもの学びや育ちをつなげる」という意識を持ち、力を合わせます。

- ◆ 学びや育ちをつなげるには、幼・保、小、中の子どもが行事や催しで交流し、互いの学びや育ちについて理解を深めることが重要です。また、幼・保、小、中の教員が互いの授業や保育を参観したり情報交換したりして、教育観や指導法への理解を深めることが重要です。
- ◆ 地域や社会に関心をもつには、地域の人たち（ゲストティーチャー等）と関わって、高浜の人・もの・ことを学び、高浜市民の一員として自分にできることを考え実践し、認められたり感謝されたりして自己有用感^(*7)を高めることが重要です。
- ◆ 主体的・対話的で深い学びには、知識や技術の獲得や、それを生かす思考力・表現力が重要です。そのためICTの活用^(*8)や、効果的な授業実践の集約・活用が重要です。
- ◆ 一人ひとりのニーズに応じた教育を継続的・発展的に行うには、確実な支援情報の引き継ぎと、個に応じて指導する力が必要です。「特別支援ファイル^(*9)」を活用した支援情報の引き継ぎと、指導力を高める教員研修を充実することが重要です。

MEMO

(*) 資料編「用語解説」(73ページ) 参照

こんなことに取り組みます！

- ☆ 異校種間連携事業(*10)で、自分や周りのよさ(*11)に気づいたり、よさを活かしたりできるよう、支援します。また、異校種参観(*12)で教師力を向上させ、子どものよさを引き出す指導を展開します。
- ☆ 高浜カリキュラム(*13)で、高浜の人・もの・ことを活かした教育を実践します。また、活用型のカレンダーを使って「高浜市が育てていきたい子どもの姿」を周知します。
- ☆ 高浜カリキュラム教科版(*14)で、優れた授業実践案を集約・活用したり、ICTを活用した授業や、高浜版プログラミング教育(*15)を実践したりして、主体的・対話的で深い学びを支援します。
- ☆ 支援の必要な児童生徒の「特別支援ファイル」の作成と引き継ぎを確実に行うシステムを構築します。また、教職員の特別支援教育への理解をより深めるとともに、指導力・実践力の向上をめざした研修を充実します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 自分や周りのよさを認める子どもの割合	79%	85%	↗
2) 地域や社会に関心をもつ子どもの割合	59%	70%	↗
3) 学習が将来、役立つと感じている子どもの割合	77%	85%	↗



▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（5）

子育て・子育てを支える環境を整えます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 安心して子どもを産み育てられる教育・保育環境や保護者が働く職場環境が整っています。
- ◎ 身近な大人をはじめ、市内の大人が子どもの目線を大切にし、子どもの遊びや成長を温かく見守る視点が常に共有されています。
- ◎ 日頃から子どもが気軽に集え、自然に世代間交流ができ、子どもがのびのびと活動できる身近な場所が整っています。

目標達成に向けての考え方

行政、地域、保護者の職場となる企業なども積極的に関わり、子どもが健やかに遊び、成長し、また、保護者が安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て・子育てを総合的に支援する環境を整えていきます。

- ◆ 将来を見据え、既存の施設やサービスを活用し、行政、地域、企業なども一緒になり、待機児童ゼロをめざし、子育て・子育てを支える環境を整えていくことが重要です。
- ◆ 子どもや子育て中の保護者が、居住する地域の一員として活動に参画し、地域に居場所や役割があることが重要です。
- ◆ 身近な大人と一緒に楽しみながら、子どもが心豊かにたくましく成長できる場があることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供など、教育・保育ニーズに対応し、待機児童ゼロをめざします。
- ☆ 子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、子育てを支える大人を増やしていきます。
- ☆ 身近な場所に、子どもの自主性・社会性をはぐくめるよう、自然に世代間や異年齢交流などができる場を増やしていきます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 子どもを産み育てやすいと感じている人の割合	66%	70%	↗
2) 子どもに対して理解のある大人の割合	66%	94%	↗
3) 待機児童数	17人	0人	↘



▲赤ちゃんと中学生との交流



▲地域の方と園児とのふれあい